

平成31年度 保健体育「保健」シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～E組
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、その意義を理解すると共に、現代社会と健康についての基礎的な事項を理解し、知識を身につけ自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てます。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1 現代社会と健康	1 現代社会と健康 (1)健康の考え方と成り立ち	各種の指標を通して健康水準の動向や疾病構造の変化を理解します。	1 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 2 学期末に授業への参加状況を見るために、保健ノートを整理して提出します。
5		(2)私たちの健康のすがた	個人や集団の健康について理解を深めます。	
6		(3)健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり	健康を保持増進するための知識や価値観をもとに適切な思考・判断が必要であることやライフステージやライフスタイルに応じて各種保健活動が行われていることを理解します。	
7		(4)生活習慣病とその予防	健康を保持増進するためには適切な食事や運動、休養など健康的な生活習慣が必要であることを理解します。	
		(5)食事と健康	喫煙、飲酒による影響について疾病との関連や社会に及ぼす影響について理解します。	
		(6)運動・休養と健康		
		(7)喫煙と健康		
		(8)飲酒と健康		
9	10	(9)薬物乱用と健康	医薬品の正しい使用法と薬物乱用の影響について理解します。	1 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 2 学期末に授業への参加状況を見るために、保健ノートを整理して提出します。
		(10)感染症とその予防	エイズや感染症の予防には社会的対策とともに個人の適切な行動が大切であることを理解します。	
		(11)性感染症・エイズとその予防	欲求が満たされないときに起こる心身の変化と適応機制について理解します。	
		(12)欲求と適応機制	精神と身体は密接な関連をもっていることを理解します。	
		(13)心身の相関とストレス	ストレスの原因や対処法を身につけることが精神の健康のために重要であることを理解します。	
12		(14)心の健康のために	欲求の中には、自己実現の欲求がありその充足が精神の健康と深く関わっていることを理解します。	
1	2	(15)交通事故の現状と要因	交通事故の現状を知り防止のための適切な行動や責任と補償問題が生じることを理解します。	1 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 2 学期末に授業への参加状況を見るために、保健ノートを整理して提出します。
		(16)交通事故を防ぐために	交通事故防止には、法的な整備や施設設備の充実などを含めた安全な社会作りが必要であることを理解します。	
		(17)応急手当の意義とその基本	応急手当の意義、順序や方法を理解し、自ら進んで実践できるようにします。	
3		(18)日常的な応急手当		
		(19)心肺蘇生法の原理とおこない方	心肺蘇生法の原理や方法に関して理解し、実践できるようにします。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
思考・判断・表現	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識・理解	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現及び知識・理解の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「保健」と言う科目は〈健康を保つ〉ことを取り扱う授業で、1年・2年次に1単位時間学習します。
健康問題がマスコミで大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報と知識を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められます。
健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、〈体の健康〉と〈心の健康〉に目を向け快適で健康的な生活習慣が身に付けられるよう努力しよう。
なお、1単位でするので中間考査は実施しません。欠席を無くし、与えられた課題や提出物は必ず期限を守り提出してください。

平成31年度 保健体育「保健」シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～E組
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、その意義を理解すると共に、生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があること及び保健・医療の制度や機関を適切に活用できるようにする。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
4	2 生涯を通じる健康	2 生涯を通じる健康	<p>思春期の心と体の健康について理解します。 性意識の男女差と性的欲求について理解し、異性を尊重する態度が必要であることを理解します。</p> <p>心身の発達と健康な結婚生活について理解します。 受精・妊娠・出産について理解し、その期間に健康について理解します。 家族計画の意義と安全な避妊の方法について理解します。人工妊娠中絶の心身への影響について理解します。</p> <p>加齢に伴う心身の変化について理解します。高齢者の健康とその支援方法や保険・医療・福祉の連携について理解します。</p>	<p>1 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。</p> <p>2 学期末に授業への参加状況を見るために、保健ノートを整理して提出します。</p>		
5		(1) 思春期と健康 (2) 性への関心・欲求と性行動 (3) 妊娠・出産と健康 (4) 避妊法の選択と人工妊娠中絶 (5) 結婚生活と健康 (6) 中高年期と健康				
6						
7						
9		3 社会生活と健康			(7) 医薬品とその活用 (8) 医療サービスとその活用 (9) 保健サービスとその活用 (10) さまざまな保健活動や対策	<p>人々の健康を守るための保健・医療の制度及び保健行政の役割について理解します。 医療の供給と医療保険について、また、医療費について理解します。</p> <p>医療機関とその役割について及び医療サービスの活用法について理解します。</p> <p>大気汚染の原因と健康への影響について理解します。</p> <p>水質汚濁の原因とその健康への影響について理解します。 土壌汚染の原因とその健康への影響について理解します。大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の関わりについて理解します。</p> <p>産業廃棄物の処理と健康への影響について理解します。</p>
10					3 社会生活と健康	
11	(1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁、土壌汚染と健康 (3) 環境汚染を防ぐ取り組み					
12						
1	(4) ごみ処理と上下水道の整備 (5) 食品の安全を守る活動 (6) 働くことと健康 (7) 働くひとの健康づくり		<p>ゴミやし尿の処理法と上下水道の整備状況について理解します。</p> <p>食品の安全性と行政の役割について理解します。 食品製造過程における衛生管理の問題点について理解を深めます。 食品の安全性を維持していくために行政・生産者・消費者の役割について理解します。</p> <p>働く人の健康問題について、特にストレスに対する援助について理解します。 労働災害の防止と職業病について理解します。</p> <p>健康的な職業生活を送るための取り組みについて理解します。</p>	<p>1 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。</p> <p>2 学期末に授業への参加状況を見るために、保健ノートを整理して提出します。</p>		
2						
3						

3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
思考・判断・表現	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識・理解	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現及び知識・理解の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「保健」と言う科目は〈健康を保つ〉ことを取り扱う授業で、1年・2年次に1単位時間学習します。
健康問題がマスコミで大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報と知識を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められます。
健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、〈体の健康〉と〈心の健康〉に目を向け快適で健康的な生活習慣が身に付けられるよう努力しよう。
なお、1単位でするので中間考査は実施しません。欠席を無くし、与えられた課題や提出物は必ず期限を守り提出してください。

平成31年度 保健体育「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～E組 女子
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 ・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動を活用できるようにする。	
6		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。	
7		・C領域 陸上競技 短距離走	陸上競技は走・跳・投などの運動で、より速く走る、より遠くへ投げる等、各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。 自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようする。	
9		・E領域 球技 (卓球)	卓球では、ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性を理解させる。また、相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようにさせる。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 ・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
10		・E領域 球技	バスケットボールは相手との攻防の中で、ボールを運び、ゴールにシュートして得点することを競うゴール型の特性を理解します。既習の集団的スキルや個人的スキルを活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームができるようにする。	
11		(バスケットボール)		
12		・C領域 陸上競技 (長距離走)	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	

1		<ul style="list-style-type: none"> ・C領域 陸上競技 (長距離走) 	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・E領域 球技 (バドミントン) 	バドミントンではネットをはさんでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連係プレイをゲームで発揮できるようにさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

まず基礎体力をつけ、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。
--

平成31年度 保健体育「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～E組 男子
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動を活用できるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
6		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
7		・C領域 陸上競技 (短距離走)	陸上競技は走・跳・投などの運動で、各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。	
9		・E領域 球技 (バスケットボール)	バスケットボールは相手との攻防の中で、ボールを運び、ゴールにシュートして得点することを競うゴール型の特性を理解します。既習の集団的スキルや個人的スキルを活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにします。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
10				・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
11		・E領域 球技 (サッカーボール)	サッカーは、集団的スキルの習得とチームの課題や自己の能力に応じて運動技能を高めることと作戦を立て、それに応じた攻防の仕方を工夫してゲームができるようにする。	
12		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	

1		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
2				
3		・E領域 球技 (バドミントン)	バドミントンではネットをはさんでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連係プレイをゲームで発揮できるようにさせる。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

1年次に身に付けた基礎体力を生かし、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。
--

平成31年度 保健体育「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～E組 女子
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動をかつようできるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
6		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
7		・C領域 陸上競技 (短距離走)	陸上競技は走・跳・投などの運動で、より速く走る、より速く走る各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。	
9		・E領域 球技 (卓球)	卓球では、ネットをはさんでラケットでボールを打ち合い得点することを競うネット型のゲームの特性を理解させる。また、相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようにさせる。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
10		・E領域 球技 (バドミントン)	バドミントンではネットをはさんでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連係プレイをゲームで発揮できるようにさせる。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
11		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	
12				

1		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
2		・E領域 球技 (バスケットボール)	バスケットボールは相手との攻防の中で、ボールを運び、ゴールにシュートして得点することを競うゴール型の特性を理解します。既習の集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームができるようにする。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 (行動観察・課題テスト)
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

1年次に身に付けた基礎体力を生かし、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。
--

平成31年度 保健体育「体育」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通 科 2年 A～E組 男子
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。 健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動をかつようできるようにする。	
6		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。	
7		・C領域 短距離走	陸上競技は走・跳・投などの運動で、より遠くへ投げる、より速く走るようにする。各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。	
9		・E領域 球技 (バレーボール)	自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにします。 ネットを挟んでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解して、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連係プレーをゲームで発揮できるようにします。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
10		・E領域 球技 (バスケットボール)	バスケットボールは相手との攻防の中で、ボールを運び、ゴールにシュートして得点することを競うゴール型の特性を理解します。既習の集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームができるようにする。	
11		・E領域 球技 (サッカーボール)	サッカーは、集団的技能の習得とチームの課題や自己の能力に応じて運動技能を高めることと作戦を立て、それに応じた攻防の仕方を工夫してゲームができるようにする。	
12		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	

1		・C領域 陸上競技 長距離走	陸上競技は自己の能力に応じて特定の長い距離をより速く走ることができるようにする。	授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。
2				
3		・E領域 球技 (バドミントン)	バドミントンではネットをはさんでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、チームの特徴を生かした攻撃と防御の連係プレイをゲームで発揮できるようにさせる。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

1年次に身に付けた基礎体力を生かし、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。
--

平成31年度 保健体育「体育」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 A～E組 男女
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。 健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 ・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動をかつようできるようにする。	
6		・C領域 陸上競技 (短距離走)	陸上競技は走・跳・投などの運動で、より遠くへ投げる、より速く走るようにする。各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。	
7				
9		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)
10		・E領域 球技	・1年、2年とやってきたことを踏まえ、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにし、各種目全てに互いに協力して安全に留意して競技会の企画や運営ができるようにすることをねらいとします。	
11		(バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、サッカー、テニス、ソフトボール)		
12				
1		・E領域 球技 (バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、サッカー、テニス、ソフトボール)	・1年、2年とやってきたことを踏まえ、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにし、各種目全てに互いに協力して安全に留意して競技会の企画や運営ができるようにすることをねらいとします。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1・2年次に身に付けた基礎体力を生かし、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。

平成31年度 保健体育「スポーツライフ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 A～E組 男女
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等保健ノート (大修館書店)

1 学習の到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになる。健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	「体育」の学習について	「体育」の学習について	「体育」の学習の意義や内容、評価の方法などを理解する。	課題テスト 授業の中で使用するプリントや配布する課題を指示された期日に提出します。 ・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)
5		・H領域 体育理論	体育理論は体育・スポーツに関する知識を理解する。自己の体力に応じた運動をかつようできるようにする。	
6		・C領域 陸上競技 (短距離走)	陸上競技は走・跳・投などの運動で、より遠くへ投げる、より速く走るようにする。各種目全てに互いに協力し、しかも安全に留意して競技や練習ができるようにする。自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。	
7		(長距離走)		
9		・A領域 体づくり運動	体づくり運動は自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしを行うことや体力の向上を図る。 ・1年、2年とやってきたことを踏まえ、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにし、各種目全てに互いに協力して安全に留意して競技会の企画や運営ができるようにすることをねらいとします。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)
10		・E領域 球技		
11		(バスケットボール、バレーボール、		
12		バドミントン、卓球、サッカー、テニス、ソフトボール)		
1		・E領域 球技 (バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、サッカー、テニス、ソフトボール)	・1年、2年とやってきたことを踏まえ、チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにし、各種目全てに互いに協力して安全に留意して競技会の企画や運営ができるようにすることをねらいとします。	・各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。(行動観察・課題テスト)

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、運動の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

1・2年次に身に付けた基礎体力を生かし、各種目に応じた技能の修得につとめ、自ら学ぶ姿勢を常に持って積極的に活動しよう。チームとしての集団での活動では勝敗を競うばかりでなく、その運動に応じた楽しさや喜びを深く味わえることを目指しています。そのために、一人ひとりが自分の役割を理解し、何らかの形でチームに貢献できるようにして欲しいです。さらに、健康・安全面の配慮を怠らず、運動の実践が体力の向上にもつながっていくよう望みたい。また、審判を含め試合の運営などが、実際に行えるようにしていきたいものです。